

令和7年度厚木市市民協働推進委員会第3回会議 議事録

1 日 時 令和7年10月3日（金）午前9時30分から午前12時40分まで

2 場 所 あつぎ市民交流プラザ7階 ミュージックルーム1、ルーム701

3 出席者 厚木市市民協働推進委員 7人

市民協働推進課長、市民協働推進係長、同係員 2人

4 傍聴者 0人

5 案 件

(1) 令和8年度市民協働提案事業の第二次審査について

(2) 第二次審査（プレゼンテーション）

(3) 第二次審査の結果取りまとめについて

6 配布資料

(1) 資料1 令和8年度市民協働事業（第二次審査対象事業）

(2) 資料2 令和8年度厚木市市民協働提案事業第二次審査スケジュール

(3) 資料3 提案団体への事前質問・回答

7 会議内容

(1) 令和8度市民協働提案事業の第二次審査について

【委員長】

本委員会は原則公開で行い、傍聴を可能としておりますが、審査結果の取りまとめについては、公正・円滑に進めるため、非公開としたいと考えております。御異議はございませんでしょうか。

（委員）

<異議なし>

【委員長】

案件（1）について事務局から説明願います。

【事務局】

資料に基づき第二次審査について説明。

(2) 第二次審査（プレゼンテーション）

ア あつぎ夢プロジェクト

【司会】

提案団体からプレゼンテーションをお願いします。

【提案団体】

プレゼンテーション（約5分）

・事前の質問の回答

○ 講師の方は市内の方から探すのでしょうか。

→市内の方から探しております。

○ 令和6年度の各イベントの参加者は何人くらいですか。

→詳細な人数は把握していませんが、大勢の方に参加していただいている。

○ 令和9年度から市民協働提案事業の手を離れることにより、イベントの周知方法や会場の確保、自主財源の増額のための協賛企業の掘り出しなどの検討・対応が必要になりますが、その点をクリアするための具体策があれば教えてください。

→難しい課題ですが、参加者や協賛企業などからの寄附も受けており、引き続き協賛していただける企業を探していきます。

○ 落語の講習会がありますが、市内に落語家の立川志ゑん（しえん）さんがおられます。毎年、9月に自治会館でミニディサービスを行っていることをご存じですか。

→立川志ゑんさんも存じております。講師は、市内の方を含めてお声をかけてていきたいと考えています。

○ 市民協働提案事業で一番困っていることは何ですか。

→自主財源の確保と小学生などの若年者の参加をどう増やしていくかが課題と考えています。

【司会】

審査委員から質問があればお願いします。

【委員】

来年度以降の事業の費用や運営についてどのように考えていますか。

【提案団体】

事業費などは、初年度から徐々に協賛金も増えており、協賛を検討している団体もございますので、協賛を増やすよう努めてまいります。

また、無料などとしている参加費も見直しを検討する必要があると考えています。
今後も、引き続き頑張っていきます。

イ 厚木かるた大会

【司会】

提案団体からプレゼンテーションをお願いします。

【提案団体】

プレゼンテーション（約5分）

・事前の質問の回答

○ 予算の内訳について説明していただけますか。

→市補助金は、小学3年生に配布するカルタの製作費に充てています。

また、大会運営費は、協賛金を充てて実施をしています。

○ 参加費を取る予定はありますか。

→厚木を学んでいただくことが大事だと考えていること、多くの方に参加してほしいため、参加費は無料としています。

○ 4年目以降の大会運営はどうように考えていますか。

→大会運営は協賛費用で賄っているため、4年目以降の開催に問題はないと考えています。

○ 今後の具体的な資金の確保は、どのように考えていますか。

→かるたの売上や、協賛金の確保に務め運営していきます。

○ 参加者が少ないのはなぜでしょうか。

→会場の入場定員が限られているためです。定員になり次第、受付を締切りさせていただいている。

○ 市民協働提案事業で一番困っていることはありますか。

→広報も市に協力してやっていただいているので、大きく困っていることはありません。

【司会】

審査委員から質問があればお願いします。

【委員】

小さな大会を地域などに開催していくことは考えていますか。

【提案団体】

団体としては、年2回開催させていただいておりますが、こども会や公民館などでも開催していただければと考えています。

ウ ハーモニカのまち厚木

【司会】

提案団体からプレゼンテーションをお願いします。

【提案団体】

プレゼンテーション（約5分）

・事前の質問の回答

○ 市内の小地域レベルで活動するハーモニカグループとの関わりの有無について、また今後の活動展開の中で繋がりを検討されているのであれば、どのように進めていこうと考えているか教えてください。

→ハーモニカのグループは大勢あるので、一つにだけ声をかけるのは難しく、相手からお声掛けをいただいた団体と協力しています。

○ 小学生が対象ということですが、どのように開催していますか。

→お声をかけて、希望された小学校で開催をしています。今年は、緑ヶ丘小学校にお伺いをする予定です。少しずつハーモニカの芽が出始めている状況です。

○ 最長3年間の提案期間を終えた後、事業の継続のためにどのような自主財源を見込まれていますか。

→音楽祭の収益や協賛金を充てて開催する予定です。

○ 市民協働提案事業で一番困っていることは何ですか。

→特に困っていることはないが、広報活動など、今後もハーモニカの輪を広げる協力をお願いしたい。

【司会】

審査委員から質問があればお願いします。

【委員】

講演会をした4校の小学校の選定方法はどのようなものですか。

【提案団体】

小学校にお声をかけさせていただきまして、日程の調整が付いた小学校と開催をいたしました。また、公民館でも開催をしているので、お声をかけていただければと考えています。

エ 多様なことばや文化に触れる、厚木市親子多言語多文化交流事業

【司会】

提案団体からプレゼンテーションをお願いします。

【提案団体】

プレゼンテーション（約5分）

・事前の質問の回答

- 社会福祉協議会では、外国にルーツのある子どもやその世帯等への支援について相談を受ける場面が少しずつ増えている感覚があります。活動を展開する上で、多分野の団体・組織等との協働・連携体制をどのように取ろうと考えられていますか。（協働や活動の発展性という点で、広く地域で活動する団体や組織との繋がりがどの程度あるのか、またどのように進めていこうと考えているのかを知りたいです。）

→他団体との協力は事業の内容によりますが、他市にある団体が開催するフェスティバルなどにブースの出展をしていいます。フェスティバルに参加した参加者同士で連携が図られています。

また、他市の外国人の子どもの学習支援会にも参加しています。依知地区の日本語教室に参加されている方などに、事業の活動の周知を行い、活動を少しづつ繋げているところです。

- 他の多言語活動団体（Hippoなど）との違いはありますか。

→Hippoさんは知っているが、参加したことがないので、比較はできません。私たちの団体は、外国語が出来るようになるのが目的ではなく、市民が能動的に自主的に楽しいということをやることが、多言語であったり文化であること、日常に触れながらどんな方にも心を広げていく人を育てることを目的としています。

○ 最長3年間の提案期間を終えた後、事業の継続のためにどのような自主財源を見込まれていますか。

→自主財源としては、イベントの参加費などを充てていますが、様々な方法を考えていきます。

○ 市民協働提案事業で一番困っていることは何ですか。

→事業の周知に関しては、広報に掲載や公民館での掲示に関しては協力を頂いていますが、学生への周知をどのようにしたらいいかが課題と考えています。

【司会】

審査委員から質問があればお願いします。

【委員】

今年は、学校への出前国際事業ができなかつた理由は何でしょう。

【提案団体】

学校のスケジュールに新たな予定を組込むのが難しいことや学校が建替え中であるため、実施できませんでした。 来年は、早めに調整をしていきたいと考えています。

【委員】

どのような方が参加していますか。

【提案団体】

親子で遊ぼう！台湾のおやつとお正月を開催した際は、15組の親子が参加されました。

【委員】

この取組みは大切であると考えていますので、頑張ってください。

オ トップアスリートの実技指導や講話を通じて、児童の「夢」を育み、スポーツへの興味関心を高める。

【司会】

提案団体からプレゼンテーションをお願いします。

【提案団体】

プレゼンテーション（約5分）

・事前の質問の回答

- 参加したこどもが継続して指導を受ける場はありますか。

→厚木市体操協会が運営しているジュニアスポーツ協会などで指導できる体制を整えています。

- 様々な方が参加されるが、それぞれにあったケアができるのか。

→厚木市体操協会は、療育の事業も実施しておりますので、知識を持って対応ができます。

- 誰でも参加できるイベントについて、参加人数はどれくらいを見込んでいますか。また、参加者の年齢層の割合はどのように考えていますか。

→こども 100 名ずつの 2 部構成になっています。(発達障害の子も含んでいます) 小学生が 7 割、未就園児が 2 割、中学生が 1 割程度の状況です。

- イベントの会場費が計上されていませんが、無償で確保することが出来たのでしょうか。どこで開催する予定ですか。

→市と協働で事業を実施するため、南毛利スポーツセンターを無償で会場とすることができました。

- 市内の中学校ではスポーツ関係の部活動が減少しています。そのような観点からも市と関係性をもって進めていく考えはありますか。

→中学校部活の地域移行などは、受け入れる側のマットや鉄棒などの設備等が不十分であるので、厚木市にもお力添えをいただきながら設備を整えていければと考えています。

- 市民協働提案事業で一番困っていることは何ですか。

→4 年目以降の事業の進め方が課題と考えています。この活動を多くの方に知つていただく予定です。

【司会】

審査委員から質問があればお願いします。

※質疑等はありませんでした。

カ あつぎストリートフェス

【司会】

提案団体からプレゼンテーションをお願いします。

【提案団体】

プレゼンテーション（約 5 分）

- 活発で素晴らしい試みですが、1年目から現在までの実績はどうでしたか。
→6回の開催で、約500名の来場者と50名の出演者です。
- 企画書に記載されている「ライブ出演者」と収支予算書（報酬費）に記載されている「出演者」は異なる認識でよいでしょうか。
→出演者の費用は、ネームバリューがある方を呼ぶ報酬費として計上しています。また、報酬費は、出演者 360,000 円、プロデューサ 120,000 円の合計 480,000 円が正しく、修正をさせていただきます。同費用は4年目以降には、新たな出演者を呼ばない予定です。
- 市民協働提案事業で一番困っていることは何ですか。
→雨が降ってしまうとできないことです。ターフなどの雨よけを張ることができますればいいと思っています。

【司会】

審査委員から質問があればお願いします。

【委員】

機材の賃借料はどのようなものか。

【提案団体】

音響設備などの機材の費用です。3年目で全額償却できるようになりました。

キ 地域子育て支援プラットフォーム構築事業

【司会】

提案団体からプレゼンテーションをお願いします。

【提案団体】

プレゼンテーション（約 10 分）

プラットフォーム構築のための費用が、申請段階から機能を加えたので、概算額が変更になりました。変更額についても併せて審議をお願いします。
(80万円から99万8千円になりました。)

○ 自主財源確保に向けた取組として、地域の食糧支援団体と協働で活動説明会を実施し、企業協賛を強化する旨の記載があります。提案書提出以降、検討が進んでいたら、その企画内容を知りたいです。

→子ども食堂運営団体協議会で各団体の活動周知を目的としたフォーラムの企画と検討を進めています。協賛団体の確保は、地域の奉仕活動団体と連携強化を図っており、少しずつ賛同を得ている状況です。

【委員】

良い事業だと考えていますが、貧困などの育児困難についてのケアは実際どのようなものか。

【提案団体】

あるケースですと、社会福祉協議会に繋ぐとともに、市の制度の周知をし、利用できる制度の紹介をするとともに、スクールソーシャルワーカーと連携を図り、こどもを見守りながら、食糧支援も併せて実施するような対応をいたしました。

ケースの実情に合わせて対応していくことになります。

【委員】

子育てカレンダーについて、様々な情報を集約していきたいと聞いたが、どのような団体を想定していますか。

【提案団体】

居場所づくりを実施している団体と、社会福祉協議などで把握している団体を想定しています。また、現在は募集をしていませんが、提案事業として実施できれば募集をしていきたい。

(3) 第二次審査の結果取りまとめについて

【委員長】

案件(3)について事務局から説明願います。

【事務局】

資料に基づき説明

【委員長】

意見がある方はお願いします。

【職務代理】

2年目以降の事業は、引き続き頑張ってほしい。

【委員長】

それでは、皆さんから提出された審査調書の採点について、1点はございませんでした。また、18点未満の事業もございませんでしたので、すべての事業を採択すべきということで御異議ございませんか。

(各委員) <異議なし>

【委員長】

ありがとうございました。本日の結果は意見書としてまとめ、市長に提出させていただきますので御承知おきください。

以上で本日予定していた案件は全て終了いたしました。ありがとうございました。